

2024年度 第2回ペット総合学科教育課程編成委員会 議事録

①. 日時：2025年3月14日（金） 15:00～16:00

②. 場所：御幸校舎201教室、来校・リモート参加

③. 参加予定者

中野 正司 様	（山口県獣医師会防府支部長 なかの動物病院 副院長）
手嶋 大悟 様	（有限会社アビーロード 代表取締役社長）
河津 道正	（副校長）
日當 泰浩	（事務長）
森野 茂弘	（教務課長）
豊田 菜摘	（教務課長補佐）
赤木 康二	（教務係長）
山本 桂子	（教務係長）
引地 舞	（学科長）

④. 議事

1. 河津：副校長挨拶
2. 森野：委員紹介
3. 引地：今年度状況【資料1参照】
4. 引地：今年度取り組みと継続課題【資料2・3・4参照】
5. 引地：来年度の取り組み提案【資料5・6参照】
6. 質疑応答

<選択科目の導入の報告>

・動物看護学実施

計7回、希望した13名を対象とした

内容：応急処置、救急救命、予防薬など、トリマーおよびペットに関わる仕事につくものが知っておくべき知識

実施理由：就職先として一定数の人間が動物病院を対象にしていたため、病院に実習に行ったときに何もわからず何もできなかったと学生からの声が上がったため

<前回からの継続課題>

・就職活動（インターンシップ）開始時期について

手嶋様：実際に早めてみてどうだったか

引地：決められたカリキュラムがすでに組まれているため、早く出すのは難しかった。モチ

バージョンの高い学生は夏休み前から積極的に出ており、実習を経験することによって更にモチベーションが上がった。

手嶋様：他校がどんどんと教育年数を変えてきている（3年過程、4年過程へのシフトチェンジ、大学のような科目選択性）どの学校もどんどんと就職活動を早くしている

中野様：獣医大学も早くなっている、多くを回っていて、雇用条件や給料など、質問されることが多くなってきた

<新設科目についてのご意見>

・美術、動物看護学導入について

手嶋様・中野様：とてもいいと思う、賛成

中野様：目、耳、皮膚などの病気をトリマーさんから指摘されて病院に来る人が多い、誤った伝え方で過剰な心配をされてくる人もいる。写真を見る事で異常を見つけられるようになる。おかしいと伝えられるようになるとうい。トリミング中に怪我をした際も、きちんと止血処置（圧迫止血や止血剤）をしてくるトリマーさんと、そのまま何もしないで来るトリマーさんがいる。

引地：なかの動物病院では国家試験を持っていない学生にどのような事をさせていますか

中野様：看護補助をさせている。保定、検査のセッティング、機械の準備など。ちょっとした足裏バリカンや耳掃除、薬浴などはやってもらう。

引地：採血の準備や輸液の準備などは行うか

中野様：人によるがさせている、出来る人にはさせる。

【全体のご意見】

手嶋様：法律に関して最新の情報を知っておいた方が良い。これからもどんどん変わっていく。ペットショップは説明を求められた場合説明しなければならない。

中野様：法律は飼い主さんの方が調べていて詳しい場合もある

引地：法規は1年後期に実施しているが非常に難しく、かなりかかみ砕いて実施している。

動物愛護法と狂犬病予防法に重きを置いて実施しているが、理解が追いついていないのが現状。それ以外に必要な法律はあるか。

手嶋様：飼養、飼育に関する法律を学んでほしい

⑦次回への課題

- ・関連法規の授業内容
- ・就職活動報告
- ・新設科目報告（造形美術）

⑧. 次回の開催予定

2025年 9～10月頃 中間報告予定